

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	立川市ドリーム学園		
○保護者評価実施期間	2024年12月18日 ～ 12月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2024年10月21日 ～ 2024年11月24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	いつもの友だちと一緒に、毎日安心して活動を楽しむことで、発達全般の土台となる力を育むことができる	・見通しのつく活動 ・よりわかりやすく取り組みやすくするために個別対応や小グループ、大グループでの活動を実施 ・人との関わりを通しての楽しさや成功体験の積み重ねになる活動	・職員同士が活動や課題について共通理解や情報共有できるよう、気軽に話せる雰囲気づくりや話し合いの場を確保する ・教材の充実 ・計画的かつ柔軟性のあるプログラム設定と非常時の対応 ・職員がアセスメント力をつける ・個別活動の導入
2	卒園された方も含め、保護者同士の交流の機会があることで、共通の話や違う感じ方や関わり方について触れる機会となっている	・療育見学や療育参加は数名ずつで行っている ・きょうだいや家族で楽しめる機会を作っている ・家族参加行事や家庭宿題を通して親子での成功体験をつめるようにしている ・保護者会や父の会への支援	・保護者が参加することの負担が軽減し、それぞれのニーズに応じて気軽に交流できるような設定の検討 ・父母のみならず、身近な人や地域の方との交流の機会の検討
3	・公立園であり、異動により、いろいろな視点での気づきをもつことができる。また、それぞれの経験を療育や保育に生かすことができている	・職員全員、グループ毎、役割毎など必要に応じた話し合いの場を設定している	・話し合いの場だけでなく、職員同士が気軽に話せる雰囲気づくり ・園内研修の充実 ・より計画的、効率的な会議の在り方検討 ・保育園等他施設との情報共有や職員交流の機会をつくる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・業務の増加に対応しきれないと感じることが多い	・書類やPC内のデータ管理の改善中である ・時間内に業務が終わらず、常に時間に追われている中での職員の余裕のなさ ・社会の変化や他の児童発達支援事業所や発達支援に関する情報を得る機会の少なさ	・業務の精査・効率化の検討・システム導入の検討 ・外部からの情報や評価を得る機会を作る ・園内研修の充実・外部研修受講後フォロー
2	・「地域支援」「地域連携」「移行支援」について不足している ・保護者やこどものニーズに応じた保育園交流が実施に不足がある	・今までは、「本人支援」や行事を含む園内での取組みに重点をおいていた。	・事業の精査 ・保育園等の交流については実施方法について再考する ・地域の状況やニーズ、社会の変化も含め、情報を得ていくことと、先の見通しをもって柔軟に対応できる仕組みを作る ・地域との関わりにも重点をおく思考で取り組みを検討する
3	・保護者に対面する機会が少ないが、保護者のニーズを理解した対応ができているだろうかと感じることがある	・園内に保護者が集える場所がない ・保護者に対面する機会が少ない	・保護者のニーズの把握に努める